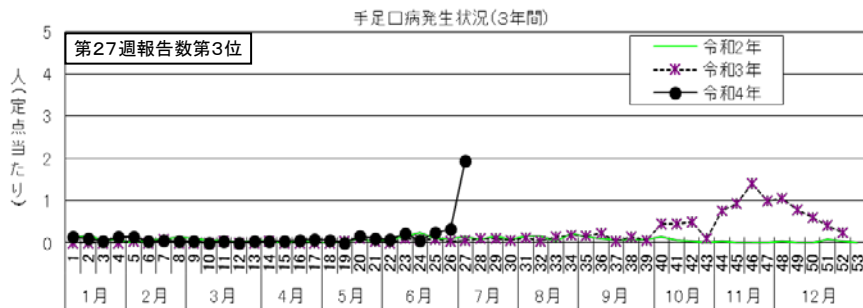
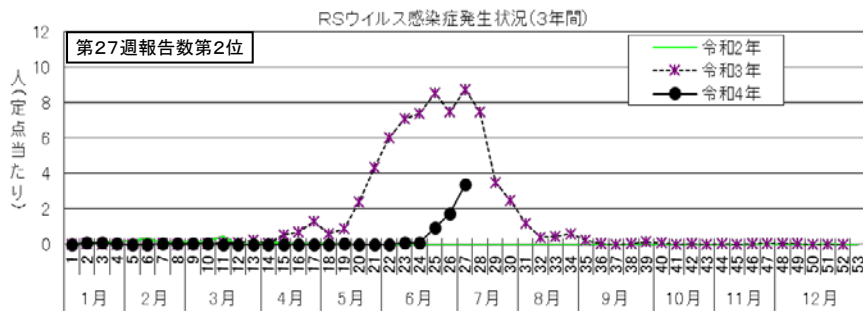
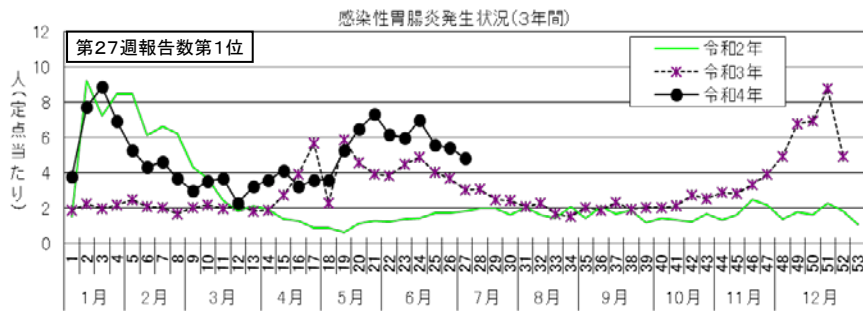


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和4年7月4日（月）～令和4年7月10日（日）〔令和4年第27週〕の感染症発生状況

第27週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) RSウイルス感染症 3) 手足口病でした。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.81人と前週（5.43人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。RSウイルス感染症の定点当たり患者報告数は3.41人と前週（1.73人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。手足口病の定点当たり患者報告数は1.95人と前週（0.32人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。



新型コロナウイルス感染症～2週連続で報告数が増加

川崎市における新型コロナウイルス感染症の報告数は、令和4年第27週（7月4日～7月10日）に6124件と、前週から急激に増加しました。

これまではオミクロン株のBA.2系統が流行の主流でしたが、感染力が強いとされているBA.5系統が、現在川崎市でも報告されています。欧米ではBA.5系統の増加に伴い、感染者が急増している国もあり注意が必要です。

BA.5系統に対する新型コロナワクチンの有効性は、BA.1、BA.2系統より低いものの、一定の効果はあるとされています。接種者数が増えれば、新規感染者数の増加を抑えることができるため、3回接種済の高齢者の方等は4回目の接種を、2回接種済の方は3回接種を御検討ください。

川崎市における新型コロナウイルス感染症 診断週別発生状況-令和3年第1週～令和4年第27週-

